



「水が織りなす安曇野今昔物語」講座受講風景（平成23年度）

「アルプスが育む安曇野の四季」講座は全10回、「水が織りなす安曇野今昔物語」講座は全7回ありますが、各講座とも1回から希望の講義や現地学習を申し込むことができます。

●受講料 無料

●申し込み・問い合わせ
受講を希望する人は、各回の開催日の3日前（現地学習は、表にある申込期限）までに、社会教育課社会教育係へ電話、または、ファクス（住所、氏名、連絡先、ご希望の講座の名称および期日を任意様式に記入）で、お申し込みください。

各講座の詳しい内容については、社会教育課社会教育係へお問い合わせください。

市では、安曇野の自然や歴史・文化・伝統について、市民の皆さんに広く学んでいただくため、次の2つの学習講座を開催します。

「アルプスが育む安曇野の四季」講座（自然科学編）では、分野ごとに安曇野特有の自然、暮らしに身近な自然について学びます。

「水が織りなす安曇野今昔物語」講座（歴史・文化・伝統編）では、昨年、5地域それぞれの歴史・文化・伝統について学習しましたが、本年度は、人物と庶民信仰に焦点を当て、前回とは違った視点から安曇野市の歴史を探ります。また、講義で学習した地を実際に訪れ、見て触れて学びます。

なお、両講座は、平成25年1月に行う安曇野検定（自然科学編、歴史・文化・伝統編）の準備講座も兼ねています。一般の部の検定問題は、主に講座の内容から出題されます。（安曇野検定については、8月発行の広報で詳細をお知らせします）

TEL 62・4565 FAX 62・3525

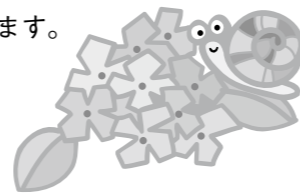
社会教育課社会教育係

「安曇野の自然・歴史を学ぶ」
「アルプスが育む安曇野の四季」
「水が織りなす安曇野今昔物語」
講座開催のお知らせ

「水が織りなす安曇野今昔物語」講座（歴史・文化・伝統編）

全国に名を馳せた先人と人々の暮らしを支えた庶民信仰から安曇野の歴史を探ります。

- 場所 穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール
- 時間 午後7時～8時30分



講義

期 日	名 称	内 容	講 師
1 7月11日(水)	人物編「江戸から明治時代」	多田加助、藤森善兵衛、藤森寿平 松沢求策、倉科多策	中島 博昭さん (地域史研究者)
2 25日(水)	庶民信仰編 「古式ゆかしい社寺の来歴、 伝統そして文化遺産」	穂高神社、住吉神社、田沢神明宮 山の神社(岩原)、満願寺、泉福寺ほか	高原 正文さん (信濃史学会評議員)
3 8月 8日(水)	人物編「明治から大正時代」	相馬愛蔵、荻原礫山、植原悦二郎 望月 桂、深沢勇市	中島 博昭さん
4 22日(水)	庶民信仰編 「豊穡の地に花ひらいた 民間信仰の諸相」	道祖神、庚申、二十三夜、大黒信仰 馬頭観音、諏訪信仰ほか	高原 正文さん
5 9月 4日(火)	人物編「昭和の時代」	臼井吉見、山田多賀市、上原良司 花村四郎、藤原保信	中島 博昭さん

現地学習

期 日	名 称	内 容	講 師
6 9月30日(日) 午前9時～午後3時(予定) 申込期限: 9月18日(火)	庶民信仰編 「庶民信仰の現場を 訪ねて」	講座で取り上げた社寺や石神石仏のうち主なものについて、現地説明しながら、神仏にすぎた庶民の「祈り」の意味するところを探ります。	高原 正文さん
7 10月14日(日) 午前9時～午後3時(予定) 申込期限: 10月1日(月)	人物編 「先人ゆかりの地を 訪ねて」	講座で取り上げた先人に関係した市内展示施設や生家、安曇野展望地、法蔵寺などを訪ねます。	中島 博昭さん

※各講座の9月16日(日)、9月30日(日)、10月14日(日)の現地学習の際に、希望者を対象に小テストを実施します。小テストの得点は、来年1月に実施する安曇野検定の得点に加算されます(一般の部のみ)。詳細は8月発行の広報でお知らせします。
※現地学習の時間、集合場所等詳細は、お申し込みいただいた人に後日ご連絡します。

「アルプスが育む安曇野の四季」講座（自然科学編）

安曇野の豊かな大自然、私たちの暮らしに身近な自然を見つめ直します。

- 場所 穂高会館 第1・2会議室
- 時間 午後7時～8時30分

講義

期 日	名 称	内 容	講 師
1 7月19日(木)	「さわやか?安曇野気象の話」	安曇野の気候の特徴や安曇野で見られる盆地特有の気象現象(秋の霧や雲海、冬の太陽柱など)について学びます。	浅川 行雄さん (地域環境研究室)
2 26日(木)	「安曇野の大地」	中部高地の中にある豊かな安曇野の自然環境。その大地の成り立ちと現在の姿を学びます。(地形、地質、活断層)	大塚 勉さん (信州大学全学教育機構教授)
3 8月 2日(木)	「安曇野の生活と地下水、 少し温泉」	地下水の歴史と変化を人々の生活と関連つけて学び、「育む地下水」をみんなで考えます。	岡部 和典さん (株式会社サクセン調査課長)
4 9日(木)	「河川と水辺の生きもの」	山に降った雨は、一部は地下水、一部は表流水となって蛇行を繰り返しながら瀬と淵をつくります。川の構造と魚や川虫、川原の生きものたちについて学びます。	吉田 利男さん (川の自然と文化研究所理事長)
5 23日(木)	「哺乳類の生態と被害問題について」	ツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンザルが、なぜ人里にまで出没するのか、その生態と被害対策を考えます。	岸元 良輔さん (長野県環境保全研究所自然環境部長)
6 29日(水)	「変わりゆく安曇野の植物」	昭和30年ごろまで人々の生活の基盤であった田畑や里山の植生が、高度成長期を経て、どのように変化してきたのか学びます。	飯沼 冬彦さん (長野県自然観察インストラクター)
7 9月 6日(木)	「北アルプスの高山植物と 外国からやってきた植物」	北アルプスの厳しい環境を生き抜く高山植物の姿と人によって外国から持ち込まれた帰化植物について学びます。	横内 文人さん (長野県植物研究会会員)
8 12日(水)	「虫の眼で見た安曇野の自然」	安曇野の自然環境が大きく変化してきている様子を、「虫の眼」の視点で捉え、考えます。	那須野 雅好さん (三郷昆虫クラブ世話人)

現地学習

期 日	名 称	内 容	場 所
9 7月29日(日) 午前9時～午後3時(予定) 申込期限: 7月17日(火)	「里山の自然を満喫しよう!」 (生きもの調査)	黒沢洞合公園や烏川渓谷緑地水辺エリアで見られる生きものや植物を歩きながら観察します。(徒歩約4キロ)	黒沢洞合自然公園 烏川渓谷緑地
10 9月16日(日) 午前9時～午後3時(予定) 申込期限: 9月3日(月)	「湧水地の自然」	徒歩で移動しながら水辺の植物、水生生物、蝶・昆虫類などを観察します。	わさび田周辺の湧水地帯